

平成 27 年度学校経営計画の取組み状況と課題

取組みの土台

多様なコミュニケーション手段による安定した心の形成（自己形成）を土台に情報保障の充実した学習環境での基礎学力の定着・発展による進学・就職の充実

キャリア教育

生活指導

大学進学

就職

専攻科
(職業科
5年制)

取組み

学力向上事業
教育課程 大学進学体制
「国公立進学への指導体制」
文系・理系コース
国際コース設置
生活指導 自学自習・自己管理

「全ての教室でICT」事業
(学校経営推進費事業)
iPad 活用 文字情報システムと連携
分かりやすい授業での活用
自学自習・自己管理・自己表現
情報リテラシー能力

「グローバル人材育成計画」事業
(学校経営推進費事業)
留学への挑戦 ギャローデット大学
アメリカ手話の授業・講習
国際交流・短期留学 タイ等
国際コース設置 グローバル人材
国際的視野を持つ生徒

高大連携事業
大学進学への意欲喚起
授業交流・共同研究
専攻科からの大学編入体制
(平成 28 年 4 月法改正)

キャリア教育充実事業
進学・就職体制の充実
アフターケアの充実体制
進路先大学・事業所の開拓
本科・専攻科と普通科・職業科におけるカリキュラム

専門性確保・発展事業
学校組織としての専門性確保
Dセンターの活用・HP発信
教員の専門性確保・発展
障がい特性理解・授業力・情報保障・手話等コミュニケーション方法

具体的な取組み

学力向上事業 校内共通学力テスト 年 2 回実施
教育課程 文系・理系コース設置
補習授業・平日補習体制・水曜 7 時間授業
HR 小テスト活用
学校クラウドによる自学自習体制
国際コース設置(28 年度) アメリカ手話の授業と講習

校内 Wifi 環境ルーター 26 台・光回線 (学校) iPad62 台
文字情報システムと連携 AppleTV34 台
授業活用「活用実践集」 生徒の予定・メモ活用
自己管理アプリ・自己表現力
学校クラウド 教員向け研修会実施
iPad を使った遠隔文字情報システム
11 月 6 日全国に向けた発表会実施

アメリカ手話の授業・講習の実施
タイとの交流 Skype 対応
電子黒板ユニット付プロジェクターの活用
アメリカ手話講師 (ハワイ在住) の講習 Skype 対応
教材の整備
総合的な学習 ECC グローバル体験
実践の発信

教務部に P J 準備チーム (28 年度 P J に)
資料収集 協同学習→大学単位認定
筑波技大と協議中 授業交流の在り方
工業系大学・家政系大学との連携
専攻科からの編入に向けたカリキュラム研究

モデル化 先輩から後輩へ 社会人・就職活動での経験
見える化 冊子・文字情報システム
体験化 就職合同説明会・現場実習
デュアル実習 (専攻科 I 年)
進路を考えるライフスタイルの意識化 進路相談
ネットワーク体制の構築・アフターケア体制
「だいせん聴覚高等支援学校のキャリア教育」冊子作成

青年期の教育 こころの教育としての視点の理解
聴覚障がいの特性理解 言葉の理解・場の理解
教科教育 英語・国語・数学指導法まとめ→学校クラウド
職業教育 資格取得 指導方法の工夫
情報保障 手話研修 iPad と文字情報システム活用
「本校で手話・iPad 活用を覚えること」

充実に向けた課題

大学進学への「学びと成長の段階図」
基礎的学力の確立 自己管理
国語力の向上
生徒の意欲の維持 iPad 活用・便り
学校クラウドの活用 自学自習

授業活用 **22 世紀型の授業への挑戦**
学校クラウド (教材) の充実
反転学習の定着 自学自習へ
スケジュールによる自己管理
メモアプリの活用によるメモの習慣
アプリ情報・活用情報の共有

希望する生徒の留学体制
短期留学の実施
アメリカ手話カリキュラム策定
アメリカ手話の指導者養成
Skype 等活用
外部機関等との連携

職業科大学進学希望生徒の対応
提携先大学の模索
授業映像への字幕対応方法
授業交流システム構築・交流費用
協調型教育プログラムの共同研究

組織的な進路指導体制
事業所ネットワーク
卒業後のアフターケア
だいせんキャリア教育の共通理解
キャリア教育の若手への継承・社会
を意識した学校風土の徹底
「教員が社会人の見本となる学校」

聴覚障がい生徒の指導特徴の発信
iPad を活用した授業方法・開発
公開授業週間やケース会議
高等学校等へ指導方法の発信
情報保障の工夫
手話等多様なコミュニケーション方法

大阪府での
使命

3 年後

青年期の聴覚障がい生徒の持てる力を最大限に伸ばし、派生する課題をワンストップで対応する

青年期の聴覚障がい生徒の全国の指導モデル校

ICT 活用・国際コース・高大連携